

**平成28年度千葉市市民局指定管理者選定評価委員会
第1回稲毛区役所部会議事録**

1 日時：平成28年6月22日（水）午前9時30分～午前11時40分

2 場所：千葉市稲毛区保健福祉センター 3階 大会議室

3 出席者：

(1) 委員

稲垣總一郎委員（部会長）、小川真実委員（副部会長）、小野寺浩一委員、西川明委員

(2) 事務局

橋稲毛区長、立石地域づくり支援室長、田中主査、福島主任主事、原田主事

4 議題：

(1) 平成27年度における指定管理者の指定結果について

(2) 平成27年度に指定管理者の行った施設の管理に係る年度評価について

ア 千葉市稲毛区穴川コミュニティセンターについて

イ 千葉市稲毛区長沼コミュニティセンターについて

(3) その他

5 議事概要：

(1) 平成27年度における指定管理者の指定結果について

千葉市市民局指定管理者選定評価委員会稲毛区役所部会の平成27年度における指定管理者の指定結果について、事務局から報告した。

(2) 平成27年度に指定管理者の行った施設の管理に係る年度評価について

ア 千葉市稲毛区穴川コミュニティセンター

平成27年度に千葉市稲毛区穴川コミュニティセンターの指定管理者の行った施設の管理に係る年度評価について、施設所管課から説明の後、意見交換を経て、部会としての意見を取りまとめ、決定した。

イ 千葉市稲毛区長沼コミュニティセンター

平成27年度に千葉市稲毛区長沼コミュニティセンターの指定管理者の行った施設の管理に係る年度評価について、施設所管課から説明の後、意見交換を経て、部会としての意見を取りまとめ、決定した。

(3) その他

議事録の公開について、事務局から説明した。

6 会議経過：

○事務局職員 委員の皆様におかれましては、お忙しい中、お集まりいただきましてありがとうございます。時間となりましたので、ただいまから平成28年度千葉市市民局指定管理者選定評価委員会第1回稲毛区役所部会を開会いたします。

私は、本日の司会を務めさせていただきます地域振興課地域づくり支援室主査の田中と申します。どうぞよろしくお願いいたします。

本日の会議でございますが、市の情報公開条例第25条に基づき公開されております。ただし、一部非公開の部分がございますので、あらかじめご承知おきください。なお、現在は傍聴人の方はいらしておりません。

本日は、地球温暖化防止の取組みの一環として、職員は軽装とさせていただきますので、ご了承ください。

続きまして、委員の皆様のご紹介ですが、昨年度から変更がございませんので、省略をさせていただきます。なお、町長委員におかれましては、本日も欠席との連絡をいただいております。

続きまして、事務局職員を紹介させていただきます。

区長の橘でございます。

- 橘稲毛区長 橘です。よろしくお願いいたします。
- 事務局職員 地域振興課地域づくり支援室長の立石でございます。
- 立石地域づくり支援室長 立石でございます。よろしくお願いいたします。
- 事務局職員 同じく、主任主事の福島でございます。
- 事務局職員 福島でございます。よろしくお願いいたします。
- 事務局職員 同じく、主事の原田でございます。
- 事務局職員 原田です。よろしくお願いいたします。
- 事務局職員 以上でございます。どうぞよろしくお願いいたします。

それでは、開会に当たりまして、区長の橘からご挨拶を申し上げます。

○橘稲毛区長 皆様、おはようございます。委員の皆様方には、お忙しい中、本日も出席をいただきまして、誠にありがとうございます。

昨年度は、穴川、長沼両コミュニティセンターの指定などにかかわる会議のために、3回にわたりご足労いただきましたこと、改めて御礼申し上げます。おかげさまで無事、今期の指定管理者の指定をすることができまして、現在両センターともに円滑な運営をされているところでございます。

本日は、穴川、長沼両コミュニティセンターの管理状況について平成27年度の年度評価をしていただきます。両コミュニティセンターが今後ますます地域の皆様に愛され、活用されるよう、委員の皆様方にはぜひとも忌憚のないご意見を賜りますことをお願いいたしまして、挨拶とさせていただきます。本日はよろしくお願いいたします。

○事務局職員 橘区長ありがとうございました。区長は所用のため、これをもちまして退席とさせていただきます。

○橘稲毛区長 申しわけございません。よろしくお願いいたします。

○事務局職員 それでは、議事に入ります前に、資料の確認をさせていただきます。

まず、机の上でございますものが、「諮問書の写し」でございます。次にファイルを開きいただきまして、上から順に、次第、席次表、会議資料一覧表、続いて資料1、進行表、資料2、委員名簿、資料3、答申書、資料4が稲毛区役所部会で審議する公の施設一覧、続いて資料5-1、千葉県稲毛区穴川コミュニティセンターの平成27年度評価に係る指定管理者評価シート、資料5-2が同じく同事業計画書、資料5-3が同じく事業報

告書、資料5-4が同じく計算書類等でございます。続いて、資料6は千葉市稲毛区長沼コミュニティセンター分で、枝番号は先ほどと同様でございます。

続いて、参考資料の1といたしまして、千葉市公の施設に係る指定管理者の選定等に関する条例、参考資料の2が千葉市市民局指定管理者選定評価委員会の会議の公開及び議事録の作成等について、参考資料3が部会の設置について、参考資料4が千葉市情報公開条例・施行規則の抜粋です。

以上でございます。不足等はありませんでしょうか。

それでは、続きまして、会議の成立についてご報告をいたします。

本日、全委員5名のうち4名にご出席いただいております、半数以上のご出席がありますので、千葉市公の施設に係る指定管理者の選定等に関する条例第10条第2項に基づき、会議は成立しております。

それでは、議事に入らせていただきます。

議事進行につきましては、稲垣部会長、よろしくお願いいたします。

○稲垣部会長　それでは、議事に入らせていただきます。ご協力のほど、よろしくお願いいたします。

初めに、議題1の平成27年度における指定管理者の指定結果について、事務局より説明をお願いします。

○立石地域づくり支援室長　昨年度の選定事務におきましては、お忙しい中、ご尽力いただきましてありがとうございます。それでは、平成27年度における指定管理者の指定結果について説明させていただきます。

○稲垣部会長　着席していただいて結構です。

○立石地域づくり支援室長　ありがとうございます。それでは座って説明させていただきます。

資料3、11ページをご覧ください。こちらは、昨年10月5日に開催された第3回稲毛区役所部会において、穴川コミュニティセンター及び長沼コミュニティセンターでの指定管理予定候補者の選定結果を、親会である市民局指定管理者選定評価委員会へ報告したものでございます。この報告を受けて市民局指定管理者選定評価委員会から市長へ答申を行い、平成27年第4回定例会に指定議案を提出し、提案可決をもって指定管理者の指定を行いました。

資料4、13ページをご覧ください。稲毛区役所部会で審議する施設の一覧ですが、穴川コミュニティセンター、長沼コミュニティセンターともに今回指定された指定管理者は、前指定管理者と同様となっております。

平成27年度における指定管理者の指定結果につきましては以上でございます。

○稲垣部会長　ありがとうございます。ただいまの事務局からのご説明について、何かご質問ございますか。これはそのとおりということで特に質問はないですか。

(なし)

○稲垣部会長　それでは、続きまして議題2の平成27年度に指定管理者の行った施設の管理に係る年度評価についてですが、まずは千葉市稲毛区穴川コミュニティセンターから審議したいと思います。

それでは、事務局より説明をお願いします。

○立石地域づくり支援室長　それでは、穴川コミュニティセンターの平成27年度に指定管理者の行った施設の昨年度の年度評価について説明をさせていただきます。

15ページ、資料5-1をご覧ください。1、基本情報ですが、指定管理者は株式会社京葉美装で、指定期間は平成23年4月1日から平成28年3月31日までの5年間です。

次に、2、管理運営の実績についてです。(1)主な実施事業の①指定管理事業につきましては、ご覧のとおりでございます。

②自主事業につきましては、年間で30事業を実施し、当初予定の22から8事業増やしての実施となりました。26年度は25事業の実施でした。稼働率の少ない調理実習室を活用した太巻き寿司教室を開催したり、幅広い世帯を新たに確保するために民話を聴く会やおもちゃ病院などを実施したりするなど、11事業を新規事業として実施いたしました。各事業の詳細は15ページ、16ページにかけましてご覧のとおりでございます。

16ページの中段をご覧ください。(2)利用状況についてですが、①の利用者数については、平成27年度の利用者数は15万7,049人で、前年度比102.5%、約4,000人の増となり、達成率は126.7%でした。②の稼働率については55.6%で、26年度から2.3%アップいたしました。

(3)の収支状況につきましては、指定管理者のLED化の推進により電気量の削減が図られたことにより、事務費の支出が計画額以下となり、収支決算額はプラス227万5,000円となりました。

(4)指定管理者が行った処分の件数、次のページの(5)市への不服申立て、(6)情報公開の状況につきましてはご覧のとおりでございます。

次に、3、利用者ニーズ・満足度の把握についてです。

まず、(1)指定管理者が行ったアンケート調査の結果についてですが、アンケート調査は管理運営の基準により年2回以上実施することになっており、8月と1月に実施いたしました。

18ページをお願いいたします。②調査の結果ですが、8月、1月ともにおおむね満足という結果が出ておりますが、キのイベント等の企画とクの予約方法では満足度が多少低くなっております。予約方法につきましては、平成25年度からインターネットによる予約に切りかえたことが影響していると考えられますが、入力方法等について施設職員が利用者に説明するなど、適宜対応に努めております。

③アンケートにより得られた主な意見、苦情とそれへの対応については、ご覧のとおりでございます。

(2)の市に寄せられた意見、苦情はありませんでした。

19ページをお願いいたします。4、指定管理者による自己評価については、管理運営面において、館内照明のLED化を進め、省エネ・節電に努めた結果、大幅な消費電力削減を達成したこと。また、自主事業において利用者のニーズを把握し、当初計画以上の事業を実施できたことなど、限られた経費の中ででき得る限り利用者ニーズに沿った質の高いサービスを提供できたという自己評価でございます。

5、市による評価ですが、S、A、Bのうち「A」といたしました。Aは「おおむね仕様、事業計画どおりの実績、成果が認められ、管理運営が良好に行われていた」という評価となります。評価の理由といたしましては、おおむね事業計画どおりの事業運営が行わ

れたこと、修繕、清掃など適正な管理運営が行われており、特に修繕に関して施設利用者の利便性を第一に考え、迅速な対応がなされたことなどの点を評価するとともに、引き続きより一層の利用者数の増のため、更なる自主事業を実施することを求めています。

続いて、履行状況の確認につきましては、項目数が多岐にわたるため、項目を絞って説明させていただきます。

20ページをお願いいたします。雇用の考え方のところの「市内雇用の確保」についてですが、職員16名中15名を市内雇用しており、仕様、提案を上回る実績・成果がありましたので「3」といたしました。

中段の複合施設の場合の管理、協力関係のところの「複合施設との連携」についてですが、防災訓練やがん検診の受付、区役所ロビーコンサートの開催等、同じ敷地内にある消防署、社会福祉協議会、稲毛区役所との連携が充実していることを評価いたしまして「3」としました。

21ページの中段をご覧ください。利用者促進のところの「ホームページの更新」についてですが、SNSを利用したPR等に努めたことにより、評価を「3」としました。

下方の管理運営の執行体制のところの「有資格者の存在・配置」についてですが、所長をはじめ職員が各種資格を保有していることから「3」といたしました。

22ページをお願いいたします。中段の施設の保守管理の考え方のところの「修繕の実施」についてですが、LED照明への交換や利用者の安全・利便性を考慮して積極的に個別修繕を実施するなど、施設の維持管理に日々努めていることを評価し「3」といたしました。

23ページをお願いいたします。緊急時の対応のところの「職員へのAED講習」についてですが、AED上級救命講習を5名、普通講習を1名が受講し、職員へのAED講習がきちんとなされていることから「3」といたしました。

最後の項目の管理経費の低廉化のところの「経費削減の努力」につきましては、LED化の推進により電気量が削減されたことから「3」といたしました。

履行状況を集計いたしますと、合計162点、平均点は2.3点で、72項目中、3点が18項目、2点が54項目でした。

以上のとおり、履行状況を確認し、全体を通しておおむね仕様、事業計画どおりの実績・成果が認められ、管理運営がほぼ良好に行われたと評価しまして「A」といたしました。穴川コミュニティセンターの指定管理者評価シートの説明は以上でございます。

○稲垣部会長　ありがとうございます。ただいまの事務局からのご説明について、何かご質問ございますか。

○小川委員　一応確認しておきたいのですが、19ページから始まる履行状況の確認のところがありますよね。項目が空欄になっているところは、計画どおりに履行されたという理解でいいのでしょうか。

○事務局職員　はい、その通りです。

○小川委員　分かりました。

○西川委員　穴川コミュニティセンターのLED化について、電気代がどれくらい削減されているのでしょうか。数字には出ないですか。

○事務局職員　LED化の影響についてですが、資料の162ページをご覧くださいませ

すでしょうか。こちらが穴川コミュニティセンターの電気使用量の実績表でございます。こちらの平成27年度というところをご覧くださいますと、今回の年間電気代が315万6,758円でしたが、仮にこれがLED工事の実施前のものと比較いたしますと、161万92円ほど削減されたというような報告でございます。

○西川委員 大分削減されたのですね。LEDの効果は大きいようですね。

○稲垣部会長 ほかによろしいですかね。

(なし)

○稲垣部会長 それでは、ただいま事務局から説明がありましたが、年度評価で指定管理者の倒産・撤退のリスクを把握することとなっています。これから計算書類等を基に指定管理者の財務状況等に関する意見交換を行うこととなりますが、一部の資料は一般には公開されていない法人等情報を含んでおり、千葉県情報公開条例第7条第3号に該当する不開示情報となりますので、同条例第25条但書の規定により、これからの会議は非公開といたします。

なお、その後に行います指定管理者の指定管理運営のサービス水準向上、業務効率化の方策、また改善を要する点等に関する意見交換については再び公開とします。

現在、傍聴人の方はいらっしゃいませんので、このまま続けてよろしいですね。

(異議なし)

○稲垣部会長 それでは、公認会計士である小野寺委員から、指定管理者の財務状況等に関して、計算書類等を基に意見をいただきたいと思えます。よろしくお願ひします。

(※財務状況に関する意見交換の経緯については、千葉県情報公開条例第7条第3号に該当する情報(法人等情報)が含まれているため、表示していません。)

○稲垣部会長 では、今、事務局からまとめていただきましたが、財務状況については提出書面を見る限り、倒産及び撤退等のリスクは少ない、事業計画性も問題ないと思われるので、こういう結論でよろしいですか。

(異議なし)

○稲垣部会長 ありがとうございます。

それでは、次に行う指定管理者の施設管理運営のサービス水準向上、業務効率化の方策、また改善を要する点等に関する意見交換について、これは公開といたします。傍聴人の方はいらっしゃいませんので、このまま続けます。

それでは、次に指定管理者の施設管理運営のサービス水準向上、業務効率化の方策、また改善を要する点について、指定管理者評価シートを基に委員の皆様からご意見を伺いたいと思えます。何かご意見はございますか。

○小川委員 評価シートに関連させて申し上げますが、資料5-1の15ページ。指定管理者評価シートの項目で言うと管理運営の実績から幾つかコメントをさせていただきたいと思えます。

まず、千葉市から委託されている指定管理事業について、計画と資料5-2と5-3にある計画書と報告書を突き合わせて拝見させていただいたんですが、指定管理者である京葉美装さんについては、LED対策も継続して取り組んでおり、その効果も上がっていると。また、施設が老朽化しているものですから、それに伴う修繕などの維持管理業務についても積極的に行っているということが確認されたので、通常の維持管理業務については

適切に、十分に高い水準で取り組んでいるのではないかなというふうに思います。

○稲垣部会長 総合意見として、ですね。

○小川委員 はい。実際に144ページを見ていただいたら分かりますが、資料5-3の、今度は事業実施報告書なんです。年度末に工事を固めたという話じゃなくて、年度初めからちょこちょこ点検していく中で、定期的に対応している様子がうかがえるので。

また、ここには盛り込まれていないんですけども、温水便座の改善等とかにも取り組まれているようだったので、そういう点が通常の維持管理業務の中でも評価できるところではないかな、というふうに意見を申し上げる次第です。

○稲垣部会長 こういう総合的にいいんじゃないかというご意見のほかに、こういう点は疑問があるんだというご意見もあれば、あるいは疑問があるけれどもというのでもいいです。疑問があるんだけど総合的にいいとか。

○小川委員 続けていいですか。

○稲垣部会長 どうぞ。

○小川委員 自主事業のほうにコメントさせていただきたいんですが。マンネリ化を回避するために新規事業を積極的に立ち上げたりして、その姿勢は評価できるかなと思います。

また、それに伴って具体的な数字が170ページに出ているんですよ。当初計画して、それで新規にやってみて、その結果が参加者数と収入、支出、収支差額として出ているんですね。参加者数でいくと、民話を聴く会とかそういった情操教育に関するようなところと、あと教育資金の準備と家計のやりくり術ですか、そこはちょっと人数が少ないんですけども、それ以外は2桁数えていて、なかなか健闘しているなというふうに見ております。いろいろ工夫しているなど。

○稲垣部会長 ありがとうございます。僕も基本的にはよくやっているのかなと思うんです。自分の個人的な感想を言うと、僕はもともと機械とか鈍いのでAEDで、毎日機械を動くようにチェックしているとか、なかなか大したものだなという、今いろんな災害があると、いざとなったら動かないというのが多いじゃないですか。やっぱり毎日チェックしているとかいうのは大変なことだなと思ったんですけど。

○小川委員 いい取り組みだと思います。

○稲垣部会長 いい点だけ言ってもしょうがないかもしれないですけど、よくやっているなというのが印象です。

○小川委員 すみません、もうちょっと褒めるところを上げておきたいんですが、評価シート、16ページのところの利用状況というところをご確認いただけますか。

利用状況、①利用者数の稼働率なんです。いい数字を出しているんですよ。常任委員の先生だったら、ほかのコミュニティセンターの状況も分かると思うんですが、結構いい数字なんです。53.3%から55.6%、2.3%もよく上げてきたなというふうに思います。健闘しているなというふうに思っています、ここは。

また、収支状況についても、ここは事務費ですか、支出のところでは節約効果が大きいなど。その結果、収支実績として227万5,000円ほどの黒字を計上していると。その経営管理のすぐれた手腕も評価に値するのではないかなというふうに私は思います。

○稲垣部会長 結局は細かい管理の積み重ねですね、企業というのは。細かくこうや

ってきっちりと詰めていかないと本当はうまくいかない。

○小川委員 直接ここでの話には結びつかないと思いますが、昨年度に選定委員会をやったときに社長自らが説明してくれた内容ですよ。僕はほかの部会でも、あの説明4回聞きましたから。

毎回言っているんですよ、最初に、「LED化を進めて、その投資効果が今になって現れてきている」と。そういう意味で言うと、建物管理のノウハウをお持ちなんだなというふうに思っています。

○稲垣部会長 決算書を見ると完成工事高と書いてあるから、何か建設会社みたいなイメージなんですけど、本業は何をしているんですかね。

○小野寺委員 「美装」というのは、清掃の委託に多い名前の漢字ですね。

○西川委員 前から結構聞いています。清掃業者ですね。

○稲垣部会長 本当に今、細かく積み上げていく時代ですよ。やっぱりこういう管理を一つずつ細かくやっていってこういう、苦勞して合計二百何万の利益を出したという。

○小川委員 これだけじゃなくて、電気・ガス・水道などの当初の計画に対する実績を見たら300万近く削減できているんですよ。だから、LEDだけじゃないんですよ。

あと、それ以外に、ここは修繕費を2系統で計上していますよね。だから、それが利益還元の一つだというふうに説明しているところなんですよ。それも着実にやっているし。本当に地域に根差して、こういう公の施設を通じた社会貢献をやりたいんだなというふうに思いますよ、これを見ていると。

○稲垣部会長 そのままずっといくと管理能力が磨かれているということですね。施設管理についてのノウハウが。

○小川委員 ただ気になるのが、その自主事業の中にあるコピー機なんですよ。毎年これについては赤字を出しているんですよ。毎月1万から1万2、3千円ぐらいの間をうろうろしているんですけど、その結果、年間20万近くになっている。

公の施設だから料金を上げるというのは難しいと思うけれども。自主事業なので、プラス・マイナスゼロになるべく近づけてほしいなとは思いますがね。コピー機は高いからね。

○稲垣部会長 結局コピーは、世の中の人にはコンビニなんかの安いのになれちゃっているものですから。なかなか高くできないですよ。個人でコピー機を買おうと、うちの事務所でももちろんそうですけど、一部あたりのコピーは単価がすごく高くなりますよ。コンビニなんかのように10円じゃとてもできないですね。

○小川委員 10円ではペイしないですね。

○稲垣部会長 1枚当たりの単価がすごく上がっちゃうんですよ。でも、来る人はコンビニの10円ぐらいのイメージで来るから、そこは高くできませんもんね。これは、経営努力しきれないんですよ。リース料金とかカウンター料金とかもう、コピー屋さんが決めてきますもんね。難しいところですね。

○小川委員 当初は、だから自主事業についてはマイナス20万円ぐらい見込んでいたんだけど、ふたを開けてみたら46万までになっているので。赤字になることをこっちとしては求めていないんですけどね。もちろん、トータルで考えれば、収支でいうと200万を超える黒字ですから申し分ないんですけども。

○稲垣部会長 そうすると、今のご意見だと、結局自主事業というのは、なるべくもう

ちょっと赤字を減らしてほしいということなんですかね。減らす方向の工夫はできないかということ、大ざっぱに言うと。

○小川委員 赤字を強いるような風潮ができちゃまずいと思うんです。民間の事業者に入るときに赤字を出して、そこまでして社会貢献をしろというのはあり得ないと思うんです。過度な利益が出たときに、利益還元しろというふうなのとバランスをとるんだったらそうですよね。

○稲垣部会長 そうですね。もともと自主事業で何割か還元する仕組みになっていますからね。自主でもうけていいよという意味ですから。もとの制度設計はね。

○小川委員 通常の施設の維持管理業務については特段問題ないですけども、ただ、この業者さんの出してくる書類なんですけど、直接評価に関係するとは言いがたいんですが、正直読みづらい。もうちょっとコンパクトに、きれいにまとめてほしい。

特に226ページ見てほしいんですけど、報告書のところで、右の項目の事務費の中で、区分があって報償費、旅費、消耗品、会議費と続きますよね。その経費内訳のところで、消耗品のところで恐らくそのピアノ椅子とか、コピー料金云々かんぬんというので150万使っていると思うんですよね。それを1行におさめなかったから2行にまたがっているでしょう。その結果、その経費内訳が1個ずつずれていっているんですね。

何で千葉市の防火管理者協議会年会費で66万もかかるのとかと最初びっくりしちゃって。1個ずつずれているんですよ。余計な誤解を与えちゃってます。だって通信運搬費で経費内訳が電気・ガス・水道で7万8,000円とかおかしいでしょう。モニタリングする市のほうもきちんと確認して欲しいですね。

○事務局職員 すみません、恐れ入ります。

○小川委員 ここは、だからこういう施設管理の通常業務にせよ、自主事業にしてもよく健闘していて、収支についても黒字を出してくるようなところだから腕はあるんですよ。強いて言うなら職人気質かな。経費削減にせよ、その利益還元にせよ、すぐれていると思います。だけど、書類の書き方のせいで、場合によっては誤解されてしまうんです。

○事務局職員 そうですね、すみません。確かにちょっとずれているように見えます。

○稲垣部会長 確かに、これはもう書いてあるからそういうことにしか、納得していくしかないですもんね。見た人は何も意味分らないですよ、この数字の経費内訳はこれだなというしか分からないというか。

○小川委員 だから、これ最後に、どこかに出すときには、ここだけ差しかえたほうがいいんじゃないですか。

○事務局職員 はい。

○稲垣部会長 今のというのは、この226の経費の内訳をもうちょっと分かりやすく作り直してほしいという意見になるんですかね。

○小川委員 はい。それと別件で、ちょっと事務局に伺いたいんですけど、ほかでも聞いているんですが、こういう形で指定管理者の方々が一生懸命取り組まれているじゃないですか。それで、27年度はサークルの数が増えたりしているんですか。目的としては、公の施設を民間の事業者の方々に運営していただくことによって、経費の節減と民間ならではのすぐれた創意工夫のあるサービスを展開してもらって、地域の活性化に資するということだと思うんですよ。

その地域の活性化に資するというのは、一つは、だからコミュニティセンターを通じた触れ合い、きずなとかそういうものをつくっていくものだと思うんですよ。とすると、サークルが新規にできたとか、利用者が増えたとか、新たなプログラムが立ち上がったとかというふうなことが具体的に列挙されてくると思うんですが、その辺について事務局のほうではどういうふうに把握しているのか、ちょっとあれば教えてほしいなど。

○事務局職員　　すみません、サークルの数につきましては、特に報告を受けておりません。

○小川委員　　その視点なんですね、僕らが知りたいのって。だから、インプットで資本を投下して、アウトプットとしてこういうような実績が出てきたと。そこから先がなかなか見えづらい。アウトカムがどういうものなのか。そこについて、市がどういうモニタリングをしているのかなというのが気になります。

○事務局職員　　一応、利用者数が4,000人増えているということは分かっております。体育館の場合は個人利用ですけれども、諸室はサークル利用されていますので、4,000人増えるということは、一つのサークルが使う回数が多くなるか、もしくは新しいサークルができて新規に使っているかという、どちらかが想定されますので、恐らくサークル数も増えてはいるとは思われます。詳細につきましては、すみません、ちょっと把握しておりませんので調べさせていただければと。

○小川委員　　私はそこが、モニタリングをやっている市の弱点だと思っています。だから、アウトプットを基にアウトカムがどういうふうになっているのかというモニタリング能力にも課題を抱えていると思っているんですね。

あとは、具体例で言うと、コミュニティセンターを指定管理者が、民間事業者が運営することになったことによって、これまで光の当たらなかったところの団体が社会進出ができるようになるとか、これまで疎遠だった団体との連携関係ができたとかというのがあるんだったらいいことだと思います。

この指定管理者について一つ評価しているのは、障害者雇用を進めるところに積極的なんです。だから、そういうところの確認とかがほしいんですよ。この市の評価というのは、アウトプットしか言っていないくて、アウトカムという視点が抜けていると思っています。

さらに言うならば、この書類で見て、この業績でいうならば、何でAなのかが分からない。利用者も増えている、経費節減効果も見方としては、だから収支の差額がプラスになっただけじゃなくて、設備の修繕ですか。ほかの区だとそれも利益還元の一つだというふうに取り込んでいるよ。とすると、ここ400万円ぐらいの利益の還元をやっているんじゃないですか。

○事務局職員　　修繕と利益還元含めて。

○小川委員　　そう。そもそもここを説明するとき、昨年の提案で説明するところで2段階で設備の修繕を考えているというふうには言っていたのね。1段階目は通常のやつで、2段階目は利益が出たときに、老朽化とか設備の更新とかで遅れている部分については積極的にやりたいと言っていた。そこを見落としているなと思いますよ。そこかな。

もう正直、ここから先はなかなか、だから稼働率を上げろと言ったって難しいと思っています。だって、もう有料化になりました、その後ネット予約になりました、というふうに市で改革進めていますから。それで、狙いとしては可能な限り100%近づけろというの

が理想だと思うけど、それは難しいと思っています。人口は減っていますから。

とするのであれば、やっぱりアウトプットもさることながら、アウトカムのほうですね。今まで関係のなかった団体が関わってくれるようになったとか、そうやってまちの価値が上がっていくというような話で評価していくほうが筋だと思いますね、これからは。これは稲毛区役所部会だけに言いたいことではないので、市民局にも話をしています。

○稲垣部会長　僕も思うことがあるんですけども、それぞれのマーケットというか、あるじゃないですか。まちの人口構成がどう変化しているのかとか、そういうデータが本当は知りたいところですね。そういう中でターゲットをどういうように絞っていくかとか、そういう大きな計画がないといけないかなと、いつもよそのコミュニティセンターでも思うんですよね。

利用者の圏域というか、ありますよね、大体2キロか3キロ範囲内で来てる、とか。その中でこの辺は人口が増えている、この辺は人口が減っている、そういうデータ分析とか含めた大きな話があって、その中でどうやってターゲットを絞っていくかという。これからこういう方向で働きかけていきますとか、そういうふうな大きな視点もほしいなというも思うんですけどね。地域によって特性が違いますしね。

○小川委員　違いますね。

○稲垣部会長　どんどんマンション建っているところと、人がいなくなっていくところと、それによって客層が変わってくるわけですよね。人口構成みたいな、何ていうかね、変わってきていますよね。幼児が多くなってる、なんて。

○小川委員　かみ砕いて言うのであれば、「まちの価値が上がるかどうか」なんですよ。そのまちの価値というのはいろんな図り方があると思うんですけども、そういう見えない資産こそ行政が取り組んでいたことでしょうか。町内会や自治会整備したり、まちづくりですよね。

○稲垣部会長　このコミュニティセンターがどのぐらいの地域をターゲットにしているのかも分からないんですよ。その地域ごとの特性をとらえてやる必要があるんじゃないかなと思うんですけどね。もちろん、企画の良し悪しで、1.5キロ圏内からしか来ていなかったお客さんが、企画がよかったために2キロ圏内から来るようになる、ということも重要なんでしょうけど。

縄張りと言ってはおかしいけど、いろんなコミュニティセンターありますよね。じゃあ、近くにコミュニティセンターがない空白地帯に住んでいる人はどこにも行けないでいるのか。市としては網羅したいわけですよね、コミュニティセンター。その境界線付近の人たちはどこにも行っていないのか、どうなっているのかとか、知りたいなと思うんですけどね。

○西川委員　穴川の場合にはどちらかという稲毛区の京葉道路より南から来る人が多いですね。北には長沼がありますから。そういうふうな地区割も、なんとなく市民は感じていると思うんですが、実際に明確な線引きがあるわけではない。

あと、地理的な条件というか交通の便というか、そういう点では穴川のほうが長沼より非常に利便性が高いと思います。

自治会との関係なんていう点からいうと、あまりコミュニティセンターと自治会とのかわりというのは、公民館よりは薄い感じがする。公民館のほうがむしろ町内自治会等は

かかわりが深いと思うんですよ。そんな印象ですね。

ここで町内自治会と、地域との連携ということで穴川コミュニティセンターでやっているのは、穴川町会ですね。あとほかにあまりないでしょう。

○事務局職員 穴川コミュニティセンターの立地が、穴川町会の区域内ですので、特定の自治会というよりは、やっぱり穴川町会さんと深くかかわっていらっしゃる印象は受けております。

○西川委員 ほかにはあまり聞かないよね。

○事務局職員 自治会が穴川コミュニティセンターを借りて会議をするというのは、あまり聞かないですね。穴川町会は使っていますけれども。

○西川委員 そういう傾向ですか。

○稲垣部会長 何となく対象がよく分かっていないなという印象なんですね。利用者アンケートの中でも、利用者はどこから来ているか。サークルに入っているか。個人で利用しているのか。そういうのが分かったほうが、参考になるような気がしますね。利用申し込みのときには住所を書くんですか。

○事務局職員 はい。

○稲垣部会長 それはネットで申し込んだときに簡単に仕分けできちゃうわけですよ。

○事務局職員 データ管理していますので、そういった統計は多分とろうと思えばとれると思われま。

○稲垣部会長 簡単ですよ。アンケートよりそのほうがいいんですかね。僕は若葉区でも委員をやっています、あそこは特に極端なんですけど、若葉区は、区役所が線路の東側にありますよね。やっぱり線路を渡ってくる人はほとんどいないというか。

だから、単純に同心円じゃないんですよ。距離の関係じゃない。

○西川委員 そうかもしれないですね。

○稲垣部会長 そういうのをどうするの、と聞いたら、「努力します」という答えなんですけど、努力しても、なかなか線路を渡っていく人は大変ですよ。

○西川委員 結構やっているようなんだけど、この穴川コミュニティセンターのエリアの中では結構大学、高校が多いんですよ。もっともっと連携してもいいんじゃないかなという印象を持つんですが。千葉大だけじゃなくて千葉経済大学もあれば敬愛大学もあるし。

○小川委員 学生にやる気があれば、ですけどね。大学として協力したくても、学生がそうやって意欲があるかどうかでまた別物のことですから。

でも、穴川コミュニティセンターはよくやっていますよ。コミュニティまつりにも障害者施設が参加したらとかもしているでしょう、市の評価は2点みたいだけど。

あと、近隣の幼稚園とか小学校さんにお声がけして謝恩会とかクリスマス会とかも開催されていらっしゃいますよね、そういうところ3点になっているんだけど。できればやっぱりインターンシップとか、そういうのも広げてほしいなというふうには思うけど。

○事務局職員 インターンシップを穴川コミュニティセンターでやられていることをもっと評価するということですか。

○小川委員 やっているの。ここ、今出てきていないけど。

○事務局職員 やっています。出てはいないです。報告には確かになかったかと。昨年

度ですと、特別支援学校の生徒さんを穴川コミュニティセンターで一定期間受け入れてお仕事体験をさせておりました、その関連もありまして、28年の4月1日からその特別支援学校さんから一人、障害者雇用ということで穴川コミュニティセンターで今働いているという状況がございます。

○小川委員　でも、履行状況の確認のところに入っていないよ、どういうこと。そこを強調してもいいと思うんだけどね。

○事務局職員　雇用が28年度からですので、それについては28年度の報告に入ってます。

○小川委員　いや、その前のインターンシップ受け入れたというほうです。

○事務局職員　はい。

○小川委員　たしか、そこら辺強調していたと思うんですけど、選定のときにも。教育関連の仕事をしていると、障害のある子たちの社会進出は難しいというのはよく分かります。我々もさんざん頭を悩めているわけです。

そういうところをやっているというのであれば、それを評価項目の中に入れてほしかったな、というふうに思いますけどね。

○事務局職員　はい、おっしゃるとおりです。

○西川委員　たまたま、今、中学校が2年生が職場体験をやっているんですよ。コミュニティセンターなんか職場体験の対象になるのかな。

○事務局職員　中学生は去年受け入れていました。

○小川委員　いろいろと受け入れてもらっていますよ。

○西川委員　受け入れている。

○事務局職員　受け入れていました。

○西川委員　受け入れている、でいいんだね。

○小川委員　受け入れてはいますよ。

○西川委員　そういうのは数字に出ているの。

○小川委員　やっぱり評価シートに出さないと。

○事務局職員　コミュニティセンターに我々がモニタリングに行って話を聞く中で、その部分は触れられなくて、ちょっと評価をしていなかった部分です。

○小川委員　草の根からよくやっていると思うけどね、結構。

○西川委員　よくやっているよね。

○小川委員　やっぱり、何ていうんだろう、利用者数とか稼働率とかに目が奪われちゃうと、そういうところは落ちちゃうのかなと。ちょっとそういう連携しているところが、民間事業者を活用することで増えてきているんだしたら、その辺は評価してほしいんだけどね。

○稲垣部会長　この評価シートの項目にそういうのはどこに入れるかですよ。項目が決まっちゃっているわけですからね。

○小川委員　いや、大枠は決まっているけどそれぞれの、だから小さい項目については市のほうで、計画書等の中から抽出してくるわけですよ。

○事務局職員　はい、そうです。

○稲垣部会長　コメントをどこかに入れたほうが目につきやすいんですけどね。この中

のどこに入れたらいいのかなと思うと、意外に難しいんですね。確かにインターンなんかで経験されるのは、いいですよ。いい試みですよ。

○小川委員 20ページの「障害者雇用への配慮」という項目があるので、そこにインターンのことを反映させてもいいんじゃないですか。

○稲垣部会長 評価シートにうまく反映させていただきたい。

○事務局職員 では、コメントに入れる形で修正する、ということによろしいでしょうか。

○稲垣部会長 その方がいいんじゃないですかね。

○小川委員 よろしくお願ひします。

○事務局職員 ではその部分の確認をさせていただきたいんですけども、20ページの雇用の考え方のところの障害者雇用の配慮、今2点とさせていただいているところがあるんですが、昨年度実施いたしました特別支援学校さんからインターンで受け入れてという部分を踏まえて、それを記載した上で点数も3にするという修正によろしいでしょうか。

○稲垣部会長 そうですね、この白紙のところちょっと書き込むということですかね。

○小川委員 修正していいのであれば、それでお願ひします。

○事務局職員 もちろん、まだ案でございますので、ホームページでも公表しておりませんので。選定評価委員会できちんと決めていただく部分でありますので。

○稲垣部会長 みなさんよろしいでしょうか。

(異議なし)

○稲垣部会長 では、事務局よろしくお願ひします。

○事務局職員 かしこまりました。

○小川委員 ちょっとその20ページで今確認しておきたいんですけど、利用者サービスの向上のところロビーでの新聞の提供とありますね。2紙、というのは分かるんですけど、血圧計、体重計、ウォータークーラーは、これはマストなんですか。

○事務局職員 義務ではないです。

○小川委員 自主的にやっているんですかね。

○事務局職員 はい。

○小川委員 で2点なんだ。

○事務局職員 そうしております。

○小川委員 なるほど。ほかのコミュニティセンターで、あれ、これをやっていたかな、と。都賀はやっていたような気がする。ウォータークーラーはあったような気がします。マストなのかどうかちょっと分からないですけど。

大体こんなところですかね。書類の書き方を何とかしろというのは、評価に入れるかどうかは別だとは思いますが、読み解くのが大変なんですよ。腰を据えてしっかり読まない。まあそれはそれとして、よく頑張っていると思います。

○稲垣部会長 書類の書き方というのは評価の問題じゃないでしょうかね。評価そのもの、テーマが違いますもんね。

○小川委員 強いて言うならば、今18ページのアンケートのところ、主な意見・苦情とそれへの対応というのがあるじゃないですか。そこでネット予約ができて便利になった人もいれば、ちょっとパソコンが使えないお年寄りには難しいという意見があったので、

そこら辺はちょっとサポートしてやってほしいなというのが改善というか要望です。

○稲垣部会長 窓口に来た人がサポートしているという説明だったですね。

○事務局職員 そうです。

○稲垣部会長 窓口に来た人に相談されれば、職員が代わりに打ち込んだりしているんじゃないですかね。

○小川委員 一応引き続きサポートをやっていただきたいな、と。

○稲垣部会長 特に負担が増えたわけじゃないですよ。もともと窓口に来て申し込むのが、パソコンでできるようになったというだけのことなので。それで、パソコンを使えない人はやっぱり窓口に来る。本人に代わって職員が内容を聞いてパソコンに打ち込む。だから、特にパソコンを使えない人の負担が特別増えたわけじゃないと思いますよ。もちろん、本来はパソコンでやってもらいたいということなので、自分だけ置いてけぼりになっているのが辛い、ということはあるんでしょうが。

○小川委員 そこまでやってあげているか分からないですが、やっぱり言葉で説明するよりも、横に立って使い方を教えるという形になるんでしょうかね。

○西川委員 職員が代わりにやっていると言っていましたよ、この前。

○稲垣部会長 このくらいですか。ほかはよろしいですかね、今のご意見で出尽くしたということで。

○西川委員 大体よくやっているよね。

○稲垣部会長 より良くなってほしいから言っているという意味です。

○稲垣部会長 では、こんなところで意見をまとめていただいて。では、事務局でまとめていただいたのをちょっと読み上げますので、聞いていただきます。

照明のLED化を継続的に実施しており、光熱費削減の効果も上がっている。施設老朽化に伴う修繕も積極的に行われており、十分な水準で管理運営が行われている。

自主事業については、マンネリ化を回避して新たな自主事業に取り組んでいる。新規事業への参加者数もある程度確保されており、工夫して実施されている。

諸室の稼働率については、前年度に比べ、2.3%増加している。また、収支状況も黒字であり、適切な管理運営を達成している。

利用対象は誰なのか、利用する人たちはどこから来ているのかなど、利用者のマーケティングや、人口動態・人口構成に係る検討など、大きな視点を持つことで、更なる利用者増を図りたい。

インターネット予約等に対応が難しいとの意見が見られるので、利用方法のレクチャーなどを、これからも対応されたい。

以上、こんな感じのまとめですね。最後ですが、「対応されたい」という言い方だとまだ対応していないようなイメージなので、そこを何か「継続されたい」とか、そんな感じではどうかと。

○小川委員 全くしていないわけじゃないですからね。

○稲垣部会長 そうですね。だから、しているけれどもという、しているけどというところを気持ち入れるように、気持ちよりできれば。

○事務局職員 では、「これからも継続されたい」と修正します。

○稲垣部会長 そうですね。では、以上でよろしいでしょうか。

(異議なし)

○稲垣部会長 ありがとうございます。それでは次に、千葉市稲毛区長沼コミュニティセンターについて評価をお願いします。事務局からご説明をお願いします。

○立石地域づくり支援室長 それでは、長沼コミュニティセンターの平成27年度に指定管理者の行った施設の年度評価について説明させていただきます。

281ページ、資料6-1をご覧ください。1、基本情報ですが、指定管理者はFun Space・オーチャー共同事業体、指定期間は平成23年4月1日から平成28年3月31日までの5年間です。

次に、2、管理運営の実績についてですが、(1)主な実施事業の①指定管理事業につきましてはご覧のとおりでございます。

②の自主事業につきましては、当初の予定は30事業のところ、33事業を実施いたしました。26年度は30事業でした。新規事業といたしまして10事業を実施しておりまして、中でも「地球温暖化防止のための現状を知ろう」、「体育館備品レンタル事業」、「はつらつ健康体操」は通年で実施され、利用者に好評であったことに加え新規利用者の獲得にもつながりました。

各事業の詳細は281ページから282ページにかけてご覧のとおりでございます。

(2)利用状況についてですが、①の利用者数については、平成27年度の利用者数は7万1,729人で、前年度比は96.4%と微減しておりますが、達成率は109.8%と目標値は達成しております。

また、②の稼働率については31.9%で、26年度と同値でした。

283ページをお願いいたします。(3)収支状況につきましては、電力会社の入札を実施いたしまして、より安価な電力の購入に努めるなど事務費等の支出が計画額を下回ったことにより、収支決算額はプラス122万1,000円でした。

(4)指定管理者が行った処分の件数、(5)市への不服申立て、(6)情報公開の状況につきましてはご覧のとおりでございます。

284ページをお願いいたします。3、利用者ニーズ・満足度の把握についてですが、アンケート調査は年2回、7月と1月に実施しておりますが、7月については市の様式ではなく指定管理者独自のアンケート様式で実施しております。

②の調査結果は、7月、1月ともにおおむね満足との結果でした。

③アンケートにより得られた主な意見、苦情とそれへの対応についてはご覧のとおりです。

(2)市に寄せられた意見、苦情はありませんでした。

285ページをお願いいたします。指定管理者による自己評価についてですが、諸室において、利用者数が前年度比で6%、約3,100人減少したという理由といたしまして、選挙の期日前投票所でなくなったことを挙げております。体育館につきましては、利用者は減少しているものの、体育館用具の貸し出し等によりファミリー層などの一般利用者が増加し、利用収入は前年度より12万5,000円の増となっていること、また「長沼プレス」の発行やイベント開催案内を近隣自治会へ回覧したり、ホームページやフェイスブックへ掲載するなどの広報活動を行い、稼働率向上に努めたりしたことを挙げており、今後の課題として新規サークルの立ち上げやサークルの高齢化対策の支援、また省エネ対策

を引き続き実施し、地球温暖化対策についての啓発活動を実施していくとの自己評価でございました。

5の市による評価ですが、S、A、Bのうち「A」といたしました。理由といたしましては、おおむね事業計画どおりの事業運営が行われていたこと。積極的に近隣施設との連携を図り、地域の一体化の調整に貢献していること。多くの新規事業に取り組み、特に防犯、防災の啓発事業は、自治会及び近隣住民も参加し、地域の安全に資するものであったこと。また、自主事業からそのままサークル展開したものがあり、地域コミュニティの情勢に役立つものであったことなどを評価いたしました。

履行状況の確認につきましては、項目数が多岐にわたるため、項目を絞って説明いたします。

286ページをお願いいたします。一番下の近隣施設の連携ですが、「フレスポ稲毛」、「ワンズモール」といった近隣の商業施設や安心ケアセンターなどと協力しながらイベントを実施したり、アンケート調査を行うなど積極的に近隣施設との連携に努めていることから「3」といたしました。

次に、287ページをお願いいたします。下のほうの利用者支援のところ、「地域の文化資源、人材等の情報発信」ですが、26年度に引き続き実施した自主企画事業「長沼さんぽ」に加え、新規事業として「下志津の戦争体験と開拓の変遷」という戦後70年を機とした講演会を開催するなど、地域の文化教育に資する企画を多数実施していることから「3」といたしました。

288ページをお願いいたします。利用促進のところの中段にあります「プレスリリースの実施」については、J：COMや地域誌に対して、電子情報や「長沼プレス」を作成して積極的にプレスリリースを実施し、利用促進に有効なPR活動を行ったことから「3」といたしました。

続きまして、289ページをお願いいたします。下のほうの設備及び備品の管理・清掃・警備のところの、下から6段目の「美観の保持」についてですが、長沼コミュニティセンターを利用しているガーデニングサークルがロビー横の庭園の整備を担い、美観を保持していることについて、アンケートでも高い評価を得ていることから「3」といたしました。

290ページをお願いいたします。緊急時の対応のところの一番下の「防犯・防災訓練の実施」についてですが、事務所の会議室を備蓄倉庫スペースとして確保したことや、職員に対する防災訓練だけでなく、直下型地震に備えての講習会を防災訓練の一環として町内自治会や近隣住民の参加を得て実施したことなどの取組みを評価し「3」といたしました。

291ページをお願いいたします。管理経費の低廉化のところの「経費削減の努力」については、緑のカーテンづくりを行い、光熱水費の削減に努めたほか、本社との電話連絡はスカイプを使用するなど、省エネ、経費削減への取組みを評価し、「3」といたしました。

履行状況を集計いたしますと、合計184点、1項目の平均点は2.2点で、82項目中、3点が20項目、2点が62項目でした。

以上のとおり、履行状況を確認し、全体を通しておおむね仕様・事業計画どおりの実績・成果が認められ、管理運営がほぼ良好に行われたと評価し、「A」といたしました。長沼

コミュニティセンターの指定管理評価シートの説明につきましては以上でございます。

○稲垣部会長 ありがとうございます。それでは、これについてご質問等ありますか。

○小野寺委員 ちょっと関係ないかもしれないですけど、評価項目、今のご説明、291ページで、3点が20項目、2点が62項目、合計で82項目ということですけど、先ほどの穴川のほうですと、穴川の資料のほうの23ページを見ますと、18項目と54項目でこちらは72項目なんですよね。これ、コミュニティセンターによって違うと思うんですけど、10個も差があるのは大きいような気がするんですが、どういった基準で設定しているんでしょうか。

○事務局職員 項目数につきましては、募集要項などに示しております、通常の履行に係る日常点検ですとか、当たり前に入るものに加えまして、選定時に提出された提案書を基に、評価すべき項目をピックアップして加えております。

その追加した項目につきまして、長沼コミュニティセンターと穴川コミュニティセンターで10項目程度差が出てしまっているのですが、これは提案内容が双方異なりますので、それによる差となります。提案書で、私たちはこういうことをやります、こういうこともやりますと多く提案がありますと、評価すべき項目も増えてまいります。

○小野寺委員 はい、理解しました。

○稲垣部会長 履行確認ですからね、今回は。そのとおりにやっているかどうか、いいことばかりいっぱい言って、何もやっていないとそのとおりに評価されるということですね。分かりました。ほかにご質問。質問はないということによろしいですね。

(なし)

○稲垣部会長 それでは、指定管理者の倒産、撤退のリスクを把握するという観点から、指定管理者の財務状況等に関して意見交換を行いたいと思います。先ほどと同様に、ここからの会議は非公開とします。傍聴人はいらっしゃらないということによろしいですか。

○事務局職員 はい。

○稲垣部会長 それでは、指定管理者の財務状況等に関して、計算書類等を基に小野寺委員からご意見をいただきたいと思います。

(※財務状況に関する意見交換の経緯については、千葉市情報公開条例第7条第3号に該当する情報(法人等情報)が含まれているため、表示していません。)

○稲垣部会長 事務局にまとめていただきましたので読み上げます。財務状況については、提供された資料を見る限りにおいてはFun Space、オーチャーともにおおむね問題ないと思われると。こういうことでまとめておきます。

では、次に行う指定管理者の施設管理運営のサービス水準向上、業務効率化の方策、また改善を要する点等に関する意見の交換については、以下、公開といたします。

傍聴人の方はいらっしませんので、このまま続けます。

それでは、指定管理者の施設管理運営のサービス水準向上、業務効率化の方策、また改善を要する点等について、指定管理者の評価シートを基に委員の皆様からご意見を伺いたいと思います。

では僕が質問したいんですけど、何かどこかに受付で待たされて不満だとかアンケートありましたよね。今はネット予約ですよ、本来は。

○事務局職員 はい。

- 稲垣部会長 どういうことが受付を待つ場合ですか。
- 事務局職員 受付を待つ場合ですが、体育館についてはネット予約ではなくて当日先着順になっておりますので、そちらを指しているものかもしれません。
- 稲垣部会長 体育館利用に、この間、非常に待たされると。そうすると、受付というよりかは、来て、一定の時間まで待っているしかないわけですよ。
- 事務局職員 はい。
- 稲垣部会長 そういう意味でよろしいですか。
- 事務局職員 はい、ちょっとお待ちください。具体的なものが、457ページをご覧いただければと思うんですけども、これがアンケートの結果分析でございまして、その中の457ページの5番に受付の待ち時間というものを、そもそもアンケートの項目として設定しております。その中で、悪かった点で「長い」と書いた方がいらっしゃったということでございます。
- なので、この「長い」について具体的にこの方が諸室を利用した方だったのか、それとも体育館を利用した方だったのか、はたまた別の内容で窓口に来た方なのか、ということころまではちょっと分かりかねます。
- 想定されるのは、体育館の場合はインターネット予約ではないので、例えば一緒にたくさんの方が9時の開業と同時にわっと来てしまうと、ちょっとお待たせする時間が出てきてしまうという懸念がございます。
- 稲垣部会長 分かりました。ほかに皆さん何かご質問やご意見ありますか。
- 小川委員 こちらの指定管理者は、展示する自主事業が多いですね。何か特段の理由があるんですか。
- 事務局職員 はい。市の展示ですとかオレンジリボン、ピンクリボンキャンペーンですとか、そういったイベントを打つときには、穴川近辺の場合、コミュニティセンターを使用しなくても、すぐ近くに稲毛区役所がありますので、区役所のロビーを使えるんですね。それに対し、長沼近辺についてはそういった施設がほかにございませんので、市のいろんな部署から、長沼コミュニティセンターのロビーを使って展示をやらせてくださいという依頼が多くございます。
- そういった依頼に対応する際に、じゃあせつかくなので、というようなことで、例えば自主事業の「下志津の戦争体験」などは、市民局の文化関係の展示があった際に合わせてやっております、そういったような事例がある、ということでございます。
- 小川委員 なるほどね、自主事業で。
- 事務局職員 はい。自主事業である一方、市と連携して取り組んでいただいているということでもございます。
- 西川委員 たまたま「下志津の戦争体験」にちょっとかかわったものですから。非常に展示なんかも一生懸命やっていますね。これに限らないでも、ほかのものも含めて。
- それと、穴川のコミュニティセンターと比べるのもどうかと思うんですが、地域との密着度というか、長沼のほうが高いような気がします。特に長沼とか山王とか小深とかの周辺地域ですね、区域がぐっと絞られていて、かつその地域との密着度が高いですね。そういう印象を持っているんですが、事務局もそういう評価ですね。
- 事務局職員 はい、市からの評価にもございまして、防災、防犯の取組みという、

非常に地域にとって重要な課題となっているものに積極的に取り組んでいるということをごさいます、5年間指定管理者をやっている中で、地域との良好な関係が広がっているという感触があるようです。先ほど申し上げたような地域における防災・防犯のイベントを打つことで、周辺の自治会さんとも、じゃあせっかくだから一緒にやりましょうというお声が上がっているということも、そういった良い関係を築けていることの裏付けかもしれません。

○西川委員 改めて確認なんですけれども、穴川と長沼、地域的な範囲というか、どこで線を決めればいいんですかね。

○事務局職員 特に、市として利用範囲を決めているわけではありませんが、距離だけでなく、交通機関にもよるところも大きいかと思います。長沼に行くバスがあるかないか、行ける手段があるのか、などですね。

○西川委員 私は天台の住民だけど、長沼にほとんど行かないですね。直線距離では長沼の方が近いと思うけれど、何となくその辺難しい。私の周りでは、長沼の方が近いけど、ほとんどの人が行かないよね。前から言っているように穴川の方が行きやすいから。

○稲垣部会長 ありがとうございます。ほかにご意見は。

○小川委員 281ページの評価シートから計画書と報告書を突き合わせて拝見させていただいて、通常の指定管理事業の中の維持管理業務については適切にやっていることは確認できました。もうそこは、良好な運営をされているなというふうに思います。

自主事業についても、新規のものを積極的に取り入れてちょっといろいろ工夫を図っているなというのが伺えます。前年とそこまで綿密に比較はしていないんですけれども、やっぱり稼働率を上げるために、そして利用者数を増やすために、いろいろ苦心なされているんだなというのも分かります。その点では評価はできます。

続いて、283ページの収支の状況のところ、利用状況については事務局のご説明どおりでいいと思うのですが、収支の状況のところ、管理費の計画額に対して決算額が減ったところが、電力の入札とかを活用して経費の縮減に努めた点も評価できるかなと思います。その結果、収支実績が122万1,000円の黒字ですよ。これ、利益還元は発生しているんですか。

○事務局職員 利益還元につきましては、還元が発生するというので報告は受けております。現在内容については検討中です。

○小川委員 京葉美装さんのほうは発生しますよね。

○事務局職員 はい穴川コミュニティセンターでも発生します。こちらの長沼コミュニティセンターについても、還元が発生するというので確認をしております。

○小川委員 その成果は評価に値するんじゃないかなと思います。あと報告書の中にあっただけですが、390ページですか。主な報告事項で、ずらっとここまで上げていただくと何をやったのかなというのがすごく見えますね。賛否あるとは思いますがけれども、例えば、391ページの8月21日から24日とあるじゃないですか。こういう学生のインターンシップを受け入れてくださったのは、だから連携してくれるところとして広がりを見せているので、いい取り組みかなというふうに思います。何かそこは評価されていないみたいですけどね。さすがに5年もやればノウハウもあるし。

あと395ページですか、ちょっとびっくりしたんですけど、事故とか苦情のところの

対応、特に事故の話なんです。何か結構すごいことが起きていたんですね。医療用ホチキスでとめなきゃいけないような案件があったりとか、それが4月と、今年の2月ですか。意識不明の方が出られたとかもあったようですね。そういうところの対応とかも問題なく迅速に、時間もこういう形で時系列で並べて、臨場感のある対応をなされていたんだというのがよく分かりました。こういう人命とかにかかわるような対応にも積極的にやっているところは評価に値するんじゃないかなと思います。

○稲垣部会長　　そうすると、さっきのご説明だと結局、もともとの提案が履行できていないところだけのチェック項目にしているから、提案外に新しく考えたことがチェック項目に載ってこなかった。

○事務局職員　　さようでございます。

○小川委員　　だけど、新規の自主事業は評価するわけでしょう。

○事務局職員　　それは、自主事業というくくりで評価いたします。

○稲垣部会長　　だから、インターンシップなんかやりますと書いていなかったから、そういう問題なんですね。

○事務局職員　　そうですね。

○稲垣部会長　　穴川も同じですね。チェック項目のほかに事務局でこういう点はチェック項目じゃないけど、さらにこの期間内に工夫した点というのは、そんな項目を一つ作ればいいんですかね。

○小野寺委員　　すみません、今の続きですけど、その評価項目はどのタイミングで作ったんですか。

○事務局職員　　これは、もともとの期間の指定管理を選定したのが平成22年度でございます。22年度に決定して、最初のモニタリングを23年度にやっているんですけども、その最初のモニタリングまでに作っているはずですよ。

今年新たに指定管理者として指定しましたので、今年のモニタリングは新たなモニタリングの項目を設定して実施する予定です。

○小野寺委員　　じゃあ、平成28年度の評価は、今のこの項目にこだわらないでということですか。

○事務局職員　　はい。

○小川委員　　どれだけ変わるのかな。これ。

○事務局職員　　市全体の指定管理者関係の事務、これは市民局だけでなく市全体ですが、指定管理者制度自体の変更などがございましたので、モニタリングについてもこれまでとやり方に変更がございます。

○小川委員　　何がどういうふうに変わっていったのか、話は聞いていないけど。

○事務局職員　　そのご報告が行っていないということですか。

○小川委員　　はい。

○稲垣部会長　　親部会を開くというだけですね。日程調整だけですよね、今の段階は。

○小川委員　　数字ばかりが目標になっても。知りたいのは、その地域住民にとって、コミュニティセンターに対する意識の変化があったか、ですね。だから、積極的にかかわりたくなるのか、それでまちの価値が上がるかという話なので。

だから、そもそもの話になっちゃうんだけど、財政再建ありきで、まちをどうしようか

という話、すぼっと抜けているもんね。

評価シートの項目の設定の仕方もあれ、と思うことが多くて。少なくとも利用者数と稼働率が上がって、収支実績が黒字で、利益還元までできるとなれば、Sがついても文句は言えないと思います。それが、Aにとどまったりとかするのがどうなのかな、と。どういう基準が用意されているのかな、と思うわけですよ。

○事務局職員 一般的なお話ということでございますか。

○小川委員 はい。あと、もうコミュニティセンターはそもそも市の直営の時期が長くあったわけじゃないですか。だから、民間事業者になったからといって劇的に何十%も上がるなんていうのは考え辛いんだし、何かどんどん利用者を増やせ、というような制度設計には無理があるような気がしているんだけど。

まあ、これは親部会で話すようなことなんですけどね。ここについては立地条件で、ある種、陸の孤島に近いようなところじゃないですか。そういう中で指定管理者の方がいろいろと工夫しているのは読みとれるなというのは分かります。涙ぐましい努力で、本社との電話連絡はスカイプを使ったりとか。そんなのもね。

○稲垣部会長 基本的にはよくやっているということですかね。

○小川委員 はい。

○稲垣部会長 まとめると、今の先生のお話だとAよりもちょっとよくてもいいんじゃないかというお話なんですけど、何となくSというのは特別とってあるんだ、という感覚も分かります。いいのは大体Aにするんだというのは暗黙の了解みたいな、その基準がどうかというお話ですよ、結局。

○小川委員 はい、そういう基準をちゃんと見せようとせず、とりあえずA、で済ませているように見えてしまうんですね。データで良い結果が出ていると思うんですけどね。

○稲垣部会長 もう飛び抜けて良くなきゃ大体Aにするという。

○小川委員 あと、評価にあたって、書類づくりが、ペーパーワークが下手なところが不利なんですね。よくやっても、報告書がうまくないと、評価につながらないという。丁寧に時系列で並べてみれば、やっていることは分かるんですけどね。特別支援学校との連携とか。

○稲垣部会長 そういう、これからの話で、特別支援、介護もそうですけど、要介護じゃなくて、要介護にいくちょっと手前の支援制度ができていますよね、福祉ではね。ああいう中間的なものを、啓発というか協力というか、どんどん市の方でやっていかなきゃいけないんでしょうね。介護までいかないものを、在宅で。

○小川委員 今回、長沼で救急車に出動依頼したのが2件出てきたというのがちょっと驚きで、だから、これからどんどん増えてくるんだろうなというふうには思うんですよ。だから、そのときの対応についても、別に長沼に限らずコミュニティセンターの間で情報共有はしておいてほしいなと思うんです。これからどんどん増えると思いますよ。文字で見ると軽度なけがのような感じもしないし。そういうところかな次は。

○稲垣部会長 本当不思議ですね。頭って普通そんなに出血しないですもんね。脳って、中では脳震盪いろいろあるんですけど、外傷で出血するって、ちょっと珍しいけがの仕方ですね。

○小野寺委員 強く打ったりしたんですかね。

○小川委員 裂傷でちょっと血管の太いところを切っちゃったんですかね。でもこれは本当に勉強になった。ほかの部会ではこの話をしようかなど。意外とこういう案件が増えてくるかもしれませんよ、と。

○稲垣部会長 社交ダンスのサークルとかも増えてますね。日本舞踊は減っていますが。日本舞踊だと余り転ぶようなことはなさそうな感じですが、ダンスだとこういう問題起きますよね。

○事務局職員 そうかもしれないですね。

○小川委員 一方はけがをされたということですよ。一方はちょっと意識不明になったという話。

○事務局職員 はい。

○小川委員 やっぱり、ふだんの施設の温度管理とかも考えていかなきゃいけないですかね。お年を召すと温度に対して鈍感になるというふうに言うじゃないですか。あと、けがに対する認識が甘いでしょう。まだまだ若いというふうに考えていらっしゃる、でも結構けがをするときは、場合によってはその後がひどくなっちゃうからね。その辺に対してもやっぱり啓発とかするとか、理解してもらうようなことを考えなきゃいけないのかね。

○稲垣部会長 ダンスは足運びですから、足がもつれやすいですよ、年をとったら。特に後ろ向きというのはね。ほかに特にご意見は。

(なし)

○稲垣部会長 今のまとめにくいかもしれませんが、ご意見を事務局でまとめていただきましたので読み上げます。

新規自主事業を積極的に取り入れ、利用者数・稼働率向上のために努力している。

電力調達の入札実施などにより、事務費を削減し収支状況は黒字であり、適切な管理運営が行われている。

起きてしまった事故への対応について、迅速・適切に対応されており、市への報告・連絡もきちんとなされている。これから、更に高齢化が進展するなかで、事故の発生も増える可能性があるため、引き続き適切な対応を心がけられたい。

こんなところでよろしいでしょうか。

(異議なし)

○稲垣部会長 それでは、先ほどの財務状況を含めて千葉市稲毛区長沼コミュニティセンターの指定管理者の行った施設の管理に係る年度評価についての本部会としての意見をまとめていくこととなりますが、詳細については私と事務局で調整することで承認いただければと思いますが、よろしいでしょうか。

(異議なし)

○稲垣部会長 ありがとうございます。

以上で、指定管理者の行った施設の管理運営に係る年度評価についての審議は終了します。最後に、議題3、その他について事務局から何かありますか。

○事務局職員 それでは、その他ということで、今後の予定についてご説明をさせていただきます。

本日、委員の皆様からいただきましたご意見等については、稲垣部会長さんから選定評価委員会の横山会長さんにご報告をいただきまして、その後、横山会長さんから市長宛て

に委員会の意見として答申をしていただきます。この委員会の答申を受けまして、市は委員会のご意見を指定管理者評価シートに記載し、市ホームページに掲載し公表するとともに指定管理者へ通知をいたします。同様に、部会の会議録及び委員会会長からの答申につきましても、市ホームページに公表することとなります。公表の時期等が決まり次第、委員の皆様にはご報告をさせていただきます。

なお、本日の部会の会議録につきましては、後日、委員の皆様にご確認をお願いしたいと考えておりますので、よろしくお願いたします。以上でございます。

○稲垣部会長　　ただいまの事務局からの説明について、何かご質問、ご意見はございますか。議事録は送られてくるんですかね、公開する前にね。

○事務局職員　　はい。

○稲垣部会長　　よろしいですか。

（異議なし）

○稲垣部会長　　その他、委員の皆様方、ご質問、ご意見があったらお聞きします。

○小川委員　　28年度の評価シートを作るとき、ちょっと書類作りに注意してほしいなど。例えば280ページのアンケートの調査結果ってあるじゃないですか、284ページ。項目別にパーセンテージを並べられても読みづらいので、何か表を作ってもらえるといいかと。字が小さいと、だんだん年齢が進むと見るのがつらくなるんですよ。お願いします。

○稲垣部会長　　確かに小さい字が並んでいるだけだと、分かりにくいですかね。おっしゃっているように、表にしていただけると比較もしやすいかと。その他、ほかによろしいですか。

（なし）

○稲垣部会長　　それでは、皆様方のご協力によりまして、本日の議事は全て終了しました。ありがとうございます。

それでは、進行を事務局にお返しします。

○事務局職員　　長時間にわたりまして、慎重なご審議ありがとうございました。

以上をもちまして、平成28年度千葉市市民局指定管理者選定評価委員会第1回稲毛区役所部会を閉会いたします。

委員の皆様、本日はお忙しい中ありがとうございました。